



## 購買意思決定における社会的リスク認知の神経基盤

著者	横山 諒一
学位授与機関	Tohoku University
学位授与番号	11301甲第16029号
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/61128">http://hdl.handle.net/10097/61128</a>

# 学 位 論 文 要 約

博士論文題目 ..... 購買意思決定における社会的リスク認知の神経基盤 .....

..... 東北大学大学院医学系研究科 医科学専攻 .....

..... 脳機能開発研究 ..... 分野 .....

氏名 ..... 横山 諒一 .....

ある商品の購入に際して、社会的リスクの認知、つまり他者から非難される危険性を予想することは、消費者の購買行動を抑制する決定的な要因の一つだと考えられている。しかし、購買意思決定に影響する、そのような社会的リスクの認知に関する神経基盤は未だ明らかになっていない。

本研究は、計 26 名の大学生に、ある商品に対する購買意図を評定する課題（購買意図課題）と、その商品の所持に対する、顕示的な社会的リスク評定を行う課題（社会的リスク課題）を行わせ、課題遂行中の脳内神経活動を機能的磁気共鳴画像法（functional magnetic resonance imaging, fMRI）によって計測した。購買意図課題の遂行時に計測した fMRI データに対して、社会的リスク評定データとのパラメトリック・モジュレーション解析を行った。また、社会的リスク課題の遂行時に計測した fMRI データに対しては、社会的リスク評定データとのパラメトリック・モジュレーション解析を行った。これらのデータ解析により、購買意思決定時と社会的リスクの顕示的評定時の間で脳内活動が異なるか否かを明らかにすることができる。

結果として、購買意図課題に対する解析では、社会的リスクの評定と、情動に関連するネットワークの一部として知られる前部島皮質の活動強度との間で、有意な正の相関が示された。また、社会的リスク課題に対する解析では、社会的リスクの評定と、心の理論に関係する領域として知られる側頭頭頂接合部ならびに内側前頭前皮質の活動強度との間に、有意な正の相関が示された。

これらの結果は、購買意思決定時には、消費者の社会的リスクの認識に、情動に関連する領域である前部島皮質が関与していることを示している。一方で、自分の購入品に対する他者の非難を消費者が顕示的に熟考する場合には、心の理論に関係する領域が活動していることを示している。

以上より、通常の購買行動（顕示的に社会的リスクを評価・熟慮しない購買意思決定）においては、前部島皮質が社会的リスクを潜在的に評価し、購買者に社会的に好ましくない商品の購買を抑制する信号を発していることを明らかにした。